



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月3日

上場会社名 ミヨシ油脂株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4404 URL <http://www.miyoshi-yushi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀尾 容造
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 小田島 淳悦 (TEL) 03-3603-1149
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	23,091	0.6	818	24.8	916	22.7	630	9.4
28年12月期第2四半期	22,958	2.8	656	228.8	746	123.3	576	551.0

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 995百万円(—%) 28年12月期第2四半期 △435百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	61.21	—
28年12月期第2四半期	55.96	—

※当社は、平成29年7月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	51,823	24,225	46.7
28年12月期	50,791	23,539	46.3

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 24,207百万円 28年12月期 23,523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	—	—	3.00	3.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年7月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。平成29年12月期(予想)の1株当たり期末配当金については、株式併合を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年12月期の1株当たり期末配当金は3円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,900	2.1	1,470	15.4	1,580	13.6	910	93.2	88.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※連結業績予想の修正については、本日（平成29年8月3日）公表の「平成29年12月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※当社は、平成29年7月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。平成29年12月期の連結業績予想（通期）における1株当たり当期純利益については、株式併合の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年12月期の連結業績予想（通期）における1株当たり当期純利益は8円84銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期2Q	10,306,895株	28年12月期	10,306,895株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	9,326株	28年12月期	9,229株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期2Q	10,297,644株	28年12月期2Q	10,297,989株

※当社は、平成29年7月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式併合後の配当及び業績予想について）

当社は、平成29年3月29日開催の第91期定時株主総会決議に基づき、平成29年7月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成29年12月期の配当予想及び連結業績予想は以下の通りです。

1. 平成29年12月期の配当予想

1株当たり配当金

期末3円

2. 平成29年12月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益

通期8円84銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年1月1日～平成29年6月30日）における我が国経済は、各種経済政策の効果により緩やかな景気回復基調が続いておりますが、中国をはじめとするアジア新興国の経済情勢や金融資本市場の変動の影響により、先行き不透明な状況で推移しました。

当油脂加工業界におきましては、緩やかな需要の回復は見られるものの、生活必需品に対する節約志向の継続と油脂原料の調達コストの上昇により、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のなかで当社グループは、既存製品の品質向上と市場ニーズに即応した高付加価値製品の開発を通じて、お客様に満足いただける製品の提供に努めるとともに、きめ細かな営業活動を行い、新たな市場開拓と用途開拓に取り組みました。

この結果、売上高は230億9千1百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は8億1千8百万円（前年同期比24.8%増）、経常利益は9億1千6百万円（前年同期比22.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億3千万円（前年同期比9.4%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

① 食品事業

食品事業につきましては、需要の伸び悩みと企業間競争が激しさを増す厳しい状況の中、主要販売先である製パン業界、製菓業界、即席麺業界等に対して、主力のマーガリン、ショートニングを中心に収益確保を優先した営業活動に努めました。また、おいしさと機能性を兼ね備えた粉末油脂等の高付加価値製品の拡販に努める一方で、技術開発力を強化し新製品の開発に取り組みました。

この結果、売上高は159億7千4百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益は5億2千1百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

② 油化事業

工業用油脂製品につきましては、新たに販売を開始した石鹼用調合脂肪酸が順調に推移し、乳化重合用脂肪酸の海外への販売も増加しました。

界面活性剤関連製品につきましては、紙・パルプ分野の家庭紙用薬剤および化粧品分野のクレンジング基剤の順調な販売に加えて、繊維油剤の中国への販売が好調に推移し、環境関連分野につきましても、飛灰用重金属処理剤の販売が増加しました。

この結果、売上高は70億3千9百万円（前年同期比13.0%増）、営業利益は2億7千万円（前年同期比381.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10億3千2百万円増の518億2千3百万円となりました。主な増加は現金及び預金7億8千1百万円、原材料及び貯蔵品2億1千2百万円、投資有価証券6億8百万円であり、主な減少は受取手形及び売掛金6億4千4百万円でありませ

ず。負債は、前連結会計年度末に比べ3億4千6百万円増の275億9千8百万円となりました。主な増加は短期借入金10億円、固定負債のその他5億5千3百万円であり、主な減少は支払手形及び買掛金2億3千5百万円、長期借入金4億8百万円、退職給付に係る負債5億6千6百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ6億8千6百万円増の242億2千5百万円となりました。主な増加は利益剰余金3億2千1百万円、その他有価証券評価差額金4億円であります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末の46.3%から46.7%に増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の業績予想につきましては、本日(平成29年8月3日)公表の「平成29年12月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,970	4,752
受取手形及び売掛金	13,640	12,995
商品及び製品	2,235	2,340
仕掛品	536	622
原材料及び貯蔵品	2,382	2,594
その他	222	201
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	22,982	23,503
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,744	4,686
機械装置及び運搬具（純額）	5,241	5,180
土地	5,325	5,325
その他（純額）	494	516
有形固定資産合計	15,805	15,709
無形固定資産		
その他	286	287
無形固定資産合計	286	287
投資その他の資産		
投資有価証券	8,992	9,601
退職給付に係る資産	2,536	2,543
その他	198	191
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	11,715	12,324
固定資産合計	27,808	28,320
資産合計	50,791	51,823

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,859	9,623
短期借入金	3,475	4,475
1年内返済予定の長期借入金	901	811
未払法人税等	114	203
その他の引当金	9	7
その他	2,400	2,433
流動負債合計	16,759	17,554
固定負債		
長期借入金	5,846	5,438
退職給付に係る負債	2,794	2,227
役員退職慰労引当金	157	130
厚生年金基金解散損失引当金	532	532
その他	1,160	1,713
固定負債合計	10,492	10,043
負債合計	27,251	27,598
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,015	9,015
資本剰余金	5,492	5,492
利益剰余金	5,337	5,658
自己株式	△24	△24
株主資本合計	19,820	20,141
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,891	3,291
退職給付に係る調整累計額	811	774
その他の包括利益累計額合計	3,703	4,065
非支配株主持分	15	18
純資産合計	23,539	24,225
負債純資産合計	50,791	51,823

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	22,958	23,091
売上原価	19,278	19,259
売上総利益	3,679	3,831
販売費及び一般管理費	3,022	3,012
営業利益	656	818
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	115	103
持分法による投資利益	17	19
その他	47	45
営業外収益合計	180	169
営業外費用		
支払利息	72	56
その他	17	15
営業外費用合計	90	72
経常利益	746	916
特別利益		
関係会社株式売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
有形固定資産除却損	29	35
特別損失合計	29	35
税金等調整前四半期純利益	717	880
法人税、住民税及び事業税	29	147
法人税等調整額	113	100
法人税等合計	142	247
四半期純利益	575	632
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	576	630

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	575	632
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△988	399
退職給付に係る調整額	△12	△37
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	0
その他の包括利益合計	△1,010	362
四半期包括利益	△435	995
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△434	992
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	717	880
減価償却費	681	795
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△390	△27
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△138	△566
受取利息及び受取配当金	△116	△104
支払利息	72	56
持分法による投資損益(△は益)	△17	△19
売上債権の増減額(△は増加)	1,011	644
たな卸資産の増減額(△は増加)	△280	△403
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,579	△235
その他	299	636
小計	260	1,658
利息及び配当金の受取額	127	118
利息の支払額	△72	△57
法人税等の支払額	△126	△64
法人税等の還付額	-	49
営業活動によるキャッシュ・フロー	188	1,703
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社株式の売却による収入	552	-
有形固定資産の取得による支出	△1,174	△1,029
その他	△11	△80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△634	△1,110
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	20	1,000
長期借入れによる収入	480	-
長期借入金の返済による支出	△585	△498
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	-	0
配当金の支払額	△309	△309
その他	△5	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△400	188
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△845	781
現金及び現金同等物の期首残高	4,642	3,970
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,796	4,752

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,657	6,230	22,887	71	22,958	—	22,958
セグメント間の内部売上高 又は振替高	88	—	88	71	160	△160	—
計	16,745	6,230	22,975	142	23,118	△160	22,958
セグメント利益	570	56	626	30	656	—	656

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,974	7,039	23,014	77	23,091	—	23,091
セグメント間の内部売上高 又は振替高	81	—	81	71	152	△152	—
計	16,056	7,039	23,095	148	23,244	△152	23,091
セグメント利益	521	270	791	27	818	—	818

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。